

総合的な学習の時間「手話講座」

藤沢市立明治中学校



単元（題材）目標

- 福祉の視点から身の周りに暮らす様々な人々への関心を高めることで、人としての視野を広げる。
- 一つの言語としての「手話」を学び、コミュニケーションの可能性を広げる。

(1) 実施時期

令和2年11月13日（金）（事前指導）・11月20日（金）（手話講座）

(2) 対象（学年等・人数）

第1学年 202名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：1学年職員（事前指導）

外部講師：港南区聴覚障害者協会の方6名

（聴覚障がい者の方3名及び手話通訳の方3名）



(4) 実施内容

- 事前指導（指導者：1学年職員）

マウスシールドの作成を行った。（前半）

挨拶や指文字及び簡単な手話を覚えた。（後半）

- 手話講座

手話体験：各教室に聴覚障がい者の方1名と手話通訳の方1名のペアで授業を行った。

- ・耳が聞こえないということについて
- ・耳が聞こえない人とのコミュニケーションについて
- ・手話のなりたちや複数の表現のしかたがあることについて
- ・手話によりいろいろな言葉を表現することについて
- ・質問等



(5) 成果

- 生徒各自の耳が聞こえないということについての理解が深まるとともに、授業の最後のお礼の言葉を手話で述べる生徒がいたこと、また、放課後等に手話で会話する複数の生徒が見られたことは、コミュニケーションとしての手話の有用性が生徒各自に認識された結果である。予めマウスシールドの作成を行ったことで講座の前から手話への興味関心が高まった。

(6) その他

- 後日校内に手話の挨拶を掲示した。来年度以降も機会を設けて手話の講座を継続していきたい。